

<p>運営理念</p>	<p style="text-align: center;">『養之如春陽』</p> <p>医療や福祉サービスの必要な ご利用者の皆様に対して、春の陽ざしのような 優しく暖かい思いやりの心で接します</p>
	<p>I 私たちは、ご利用者を家族と思い、真心をこめて接します</p> <p>II 私たちは、お互いを兄弟と思い、力を合わせてサービスを提供します</p> <p>III 私たちは、良質なサービスと健全な経営で、地域社会に貢献します</p> <p>IV 私たちは、常にご利用者の立場に立ったサービスを心がけます</p>
<p>事業運営の目標</p>	
<p>法人全体の目標</p>	<p style="text-align: center;">新しい時代に即したケアサービス、地域連携、社会貢献の推進</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 運営理念に基づく法人及び各事業の社会的な使命の理解と実践
	<ul style="list-style-type: none"> ● 科学的データと根拠、及び適切な評価サイクルに基づくケアサービスの実現
	<ul style="list-style-type: none"> ● 多職種連携・協働、及び医療連携の強化
	<ul style="list-style-type: none"> ● 法人の特色を活かした独自の地域貢献活動の実現
<ul style="list-style-type: none"> ● 人材確保、人材育成と人材定着に向けた取り組みの強化 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 自ら提供するサービスに対する質の評価と業務改善への意識付け 	
<p>各部署・事業所の目標</p>	<p>[1] 看護課：利用者の重度化に対応した安全で安心した生活の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者健康状態の把握と異常の早期発見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 協力医療機関及び関連施設との連携の強化、及び情報収集とその周知徹底 ・ 利用者の重度化に伴う医療リスク、医療管理、緊急時対応についての対応力向上 <ul style="list-style-type: none"> ～ 緊急時対応研修の充実、及び研修環境の整備 ・ 日常的な状態観察力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ～ 部署別研修による基本的対応力の向上と介護職員へのフォロー ● 口腔衛生管理体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・ 協力歯科医療機関（歯科医師、歯科衛生士等）との連携 ・ 口腔衛生に関する計画書の作成
	<p>[2] 介護課：『寄り添うケア』の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 『ノーリフティングケア』の更なる推進と、適切な介護技術による現場職員、及び利用者に対する負担の軽減 ● 認知症に対する理解の向上と、個々の状況に応じた適切なケアの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアに関する専門委員会の立ち上げ ・ 定期的な認知症ケアに関する研修、及び個別的な指導の実施 ・ 認知症に関する専門的研修受講の促進（認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修） ● 口腔衛生管理に関するケアの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医師及び歯科衛生士による技術的指導と指導に基づく適切な口腔ケアの実施 ● 『その人らしさ』を実現するための、新たな情報収集、アセスメントの検討と実施
	<p>[3] 栄養課：『一生食べる喜びを持ち続けていただく』</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 季節感や食文化を大切にした行事食の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節に応じた行事の実施（居酒屋、お花見弁当、おせち料理 等） ～ 月毎の行事食を2回以上実施 ● 利用者の嗜好、摂食嚥下機能、生活歴を重視した食事サービスの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 週3回以上のミールラウンドの実施 ・ 多職種協働による栄養ケア・マネジメントの実施 ● 栄養ケア・マネジメントの実施、及び栄養改善の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設サービスにおける強化加算の算定 ・ 通所サービスに対する栄養改善への取り組み ● スタッフのスキルアップによるサービスの質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修への参加等研修機会の確保、及び伝達講習の実施

その他・全体での事業運営の目標	<p>[4] 在宅部：地域貢献と地域連携に根ざした事業運営の拡充</p> <p>【通所介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サービスの質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者に寄り添い、人生で一番輝いていた時間の共有を図り、「デーサービスで楽しく過ごす事」を最大のテーマとする ・ 他事業所との連携の強化 ・ 利用者のニーズに即したレクリエーションの提供 <hr/> <p>【訪問介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の思いに寄り添うサービスの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別でのサービスマナーと接遇教育の徹底 ・ 身体介護技術の向上、生活援助（調理等）の技術の向上 ● 外部機関（居宅支援事業所等）との連携連絡の強化と丁寧な支援による信頼関係の構築 <hr/> <p>【居宅介護支援事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の把握、及び業務優先順位の確認と効率化 ● サービスの質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネジメントに関する技能の向上 ～ 年回5回以上の研修受講及び、受講内容の共有
	<p>[1] 介護サービスの質の評価と科学的介護への取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● L I F E（科学的介護情報サービス）活用、及び加算の取得 ● L I F E用データに繋がるADL評価法の導入(Barthel Index) ● 業務ICT化への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存システムソフトウェアの活用、及び現状の問題点の抽出と検討⇒L I F Eデータ ・ 職員全般に向けてのICT関連勉強会の企画、実施 ・ 書式等の見直し、及び標準化、共用化によるデータ共有効率の向上
	<p>[2] 生産性向上に向けた業務改善への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規委員会の立ち上げ <ul style="list-style-type: none"> ～ 『利用者の安全・介護サービスの質の確保・職員の負担軽減』に関する新規委員会の早期立ち上げ、及び運営
	<p>[3] 適切な事業運営のための取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者虐待防止の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 虐待防止推進担当者の専任 ● 感染症対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ シミュレーションを取り入れた対応訓練の実施
	<p>[4] 人材確保と人材育成のための継続的な取り組み、及び働きやすい職場環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法人理念の理解の深化と具体的な実践への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間計画への組み込み、及び課題等の設定による理解状況の把握とフィードバック ● 職員教育体系の整備および内容の検討による教育システムの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアに関する教育の強化（各部署[2]参照） ～ 在宅部門における認知症ケア機会の確保 ・ 採用時研修、新人職員研修の充実 ● 新たな『資格取得支援に対する援助』の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格取得のための研修受講、受験等に対する休日取得の配慮(有給休暇取得を含む) ・ 一部資格取得のための金銭的補助の検討 注) R5年度は『喀痰吸引研修』のみ施設費用にて実施 ● 処遇改善に係る加算等の変更（一本化）に伴う、処遇改善体系の見直し ● 働きやすい職場づくりへの取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改善による職場環境の改善（新規委員会による…その他[2]参照） ・ 全職員に対する自己評価、及び個別職員面談の実施 ・ 全職員に対するストレスチェックの実施 ・ ハラスメント関連研修の実施

[5]	<p>自ら提供するサービスに対する質の評価と業務改善への意識付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 『福祉サービス第三者評価』の実施
[6]	<p>地域社会との関わりの構築、および地域貢献への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域代表者や他機関等との協議機会の検討 ● 医療法人との定例会における連携機会の検討
[7]	<p>地域社会に開かれた社会福祉法人の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務諸表を含む施設情報の公表による事業運営の透明性の確保 ● 苦情・相談内容等に対する適切な説明とその公表の徹底 ● 広報紙、ホームページ、その他SNS等の継続的な運用による広報活動の実施
[8]	<p>健全で安定した事業の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中長期事業計画の策定 ● BCP（事業継続計画）の適正な運用と見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ BCPに沿った研修、及びシミュレーションを取り入れた訓練の実施 ・ 研修、及び訓練結果に基づく内容の見直し ● 事業運営の見直しによる経費の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期運営会議(管理者会議)における、月次事業実績の報告 ・ 業務改善に基づく中・長期的な経費の削減（新規委員会による…その他[2]参照）